

落合 範良

(平政・公明党)

27年度当初予算と財政見通し

質 4つの重点事項が示されており例年以上に積極的な予算と思うが課題解決にどのように取り組むのか、また、米価下落等で個人消費が落ち市税の増は見込めない中、今後の財政見通しは。

答 重点事項に人口減少問題への対応等、横断的な視点も取り入れ、的確にスピード感を持って取り組むこととしている。今後は、市税の減少傾向が続くほか、地方交付税についても減額が懸念されるが、基金残高や市債の実質負担率等からみて、将来的にも財政運営上、支障を来さないものと考えている。

基幹産業である農林業の振興

質 木材伐採搬出コスト削減のため路網整備をさらに積極的に進めるべきと思う。市の森林整備計画に目標は1ヘクタール当たり60メートル、90メートルと掲載されているが、現在の進捗状況は。

答 20年度以降、林道をはじめとした基幹路網を1万1875メートル、森林作業道の細部路網を3万3508メートル整備している。さらに、27年度において林業専用道3路線の整備を計画しているほか、今後伐期を迎えるスギ民有林を中心に引き続き、路網整備を進めていきたいと考えている。

その他の質問事項

○松くい虫に強いクロマツの補植
○幹線道路で地吹雪区間の安全確保

小野 立

(よねしろ・立志会)

民意に基づく軌道修正は本当に不可能か

質 地方自治には本来なじまない話だが、本市議会は現在、市長と党が多数を占め市長提案は全て通る状況にある。市長提出なら修正議案も通るだろう。民意に基づく修正は不可能なのか。

答 施策を進めるに当たっては、さまざまな機会を通じて市民の皆様の御意見等を把握し、できる限り施策に反映させるよう努めている。市として、十分検討した上で必要な施策であるとの判断に立ち、議会に提案し、議決いただいた施策の大きな方向づけについては、修正は難しいものと考えている。

観光拠点整備事業、アンケート実施を

質 大型七夕を展示する観光拠点整備事業には多額の出費を要するが、建設には賛否両論がある。事業を実施する前に、まず建設の是非を問う市民意向調査が必須と考えるが御所見を伺う。

答 現在、基本計画検討委員会で御意見を伺っており、また、市民からも意見募集を行っている。今後、たたき台を素案にした上で、パブリックコメントを行うこととしており、今のところ、市民への意向調査等の実施は考えていない。

その他の質問事項

○施策に対する市民の同意とは何か
○移住促進。空き家バンクの創設を
○大型七夕。補助金頼みの違和感

佐藤 智一

(希望)

医療費助成を中学生まで拡充する考えは

質 県内他市においても中学生までを対象として医療費が無料となってきた。移住定住の観点からも早期拡充する考えはあるか。

答 多額の一般財源が必要となることから、現時点での助成拡充は困難であると考えているが、27年度に策定する地方版総合戦略において、子育て支援に関する施策の充実を柱の一つとすることとしており、その中で検討していきたいと考えている。

市道河戸川相染森線へ防雪柵設置予定は

質 冬期間吹きだまりにより非常に危険な区間となっている。通学路でもあるため早期対応を。

答 市では、冬期における市民生活等に影響がないようパトロールを行い、吹きだまりや吹雪により通行に支障を来すおそれがある路線については、除雪車の出動により、道路交通の安全確保に努めている。防雪柵の設置については、交通量や道路状況等を確認しながら、今後、仮設式防雪柵の設置を含め検討していきたい。

その他の質問事項

○空家対策に固定資産税優遇措置は
○避難場所公衆無線LAN整備は
○防災情報周知にLINE活用を